

青森県

五所川原市広報

市政ニュース

第96号 一部2円

発行所 五所川原市役所

印刷所 青森民友新聞社

中山山脈の文化を探る(4)

津軽考古学会

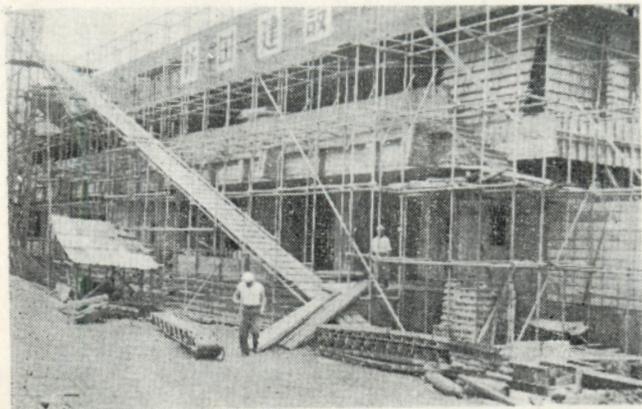
会長 秋元省三

藤崎に居城していた安藤氏は鎌倉幕府の圧迫に堪えかねて相内に移り、十三に福島城を築いて住んでいたが、南部義政の謀略にかかり、戦いに敗れ一旦小泊の柴崎城まで退却したが、ここでも防ぎきれず松前へと逃げていった。それは嘉吉三年十二月の末のことであつた。今泉部落の背後の山中に、安倍太郎屋敷と呼ばれている所がある。ここに住んでいた安倍太郎が延元三年摂津国石津で足利軍と戦つて北畠顯家と共に戦死している。このほか乙部地小三郎の館跡が尾別にあるが、五所川原地区では原子平内兵衛の原子館、神山左京の神山館、長内大学の戸沢館、金神林の金神館など諸方に館跡があるが中でも飯詰の高館は城主朝日左衛門尉行安が大浦軍との数度の戦いで有名になつた。飯詰の高館城主朝日氏の初代藤原景房は、中納言藤原藤房の子息と伝えられる。藤房が建武の中興がなつたのち、後醍醐天皇の賞罰が足利尊氏を過賞、適正を欠いたため諸将の不平不満がおさまらないことを心配し、しばしばおいさめ申したがおとりあげがなかつた。そこで彼は前途に見切りをつけて、遂に官職を捨てて野に下り、仏門に入ったことになつているが、飯詰町諸翁聞取帳等によれば、藤房は諸国を遍歴の末、秋田県の松原補陀寺から中山山脈の中にある正中山梵場寺にこもり、安東真弘(一名真時)の長女を嫁つて景房を生み、これが成長ののち興國五年飯詰の高館に城を築いたことになつている。

今年末完成目指して 急ピッチに工事進む

建設中の市民会館

市民の文化福祉の殿堂として、かねて期待をよせられておりました市民会館は岡建築設計事務所的设计に基づき、津軽の母岩木川の畔り、老柳蒼然として由緒ある柳町の五小校跡に約一億二千万円の工事費を予定し昨年十月二十九日工事現場で起工式をおこない、ただちに新田建設(本社東京)が工



事に着手しましたが、現在外観の形がほぼできあがり、今年十二月末の完成を目指しております。外装はクリーム色に茄子紺を配したタイル張りの明るいモダンなものになる予定です。これの完成により従来集會、合合などに学校等使用されていたことが解消するとともに、市民の憩いの広場として

永く後世に残ることと思います
同会館は総坪数九四〇、五八坪、鉄筋コンクリート二階建てで内部は二〇〇〇名収容の大ホール(固定席九〇〇補助席三〇〇)をはじめ二〇〇名収容の集會室それに小會議室二室、図書室などとなつております。
また別館は木造モルタル塗二階建て二層は四

八丁間の和室結婚式場、墮下は料理、生け花、茶道などの講習会に使用できるような和室などがあります。

(写真：工事進捗よく率七〇%の市民会館)

http://www.city.wajima.aomori.jp

公営住宅 入居者募集

幾世森団地(市内大字湊)に建設中の公営住宅第一種アブロック平屋建十二戸および第二種アブロック平屋建二十二戸が今年十一月末完成しますので入居希望者を募集します。

申込受付期間は九月十日から九月二十日まで(土曜日、日曜日、祭日は申込書の交付および受付はいたしません)
入居希望者は五所川原市公営住宅入居申込書を市役所民生課に提出してください。

現在申込書を提出している人でも新規公募でありますので、あらためて申込書を提出してください
申込書には勤務者のときは勤務先の給与証明書を、その他の人は所得証明書または所得を証明する書類を添付してください。

なおくわしのことについては市役所民生課におたづねください。

△：▽

正しく選んで明るい選挙

9月7日は市議選投票日

